

# 今、何の病気が流行しているか！

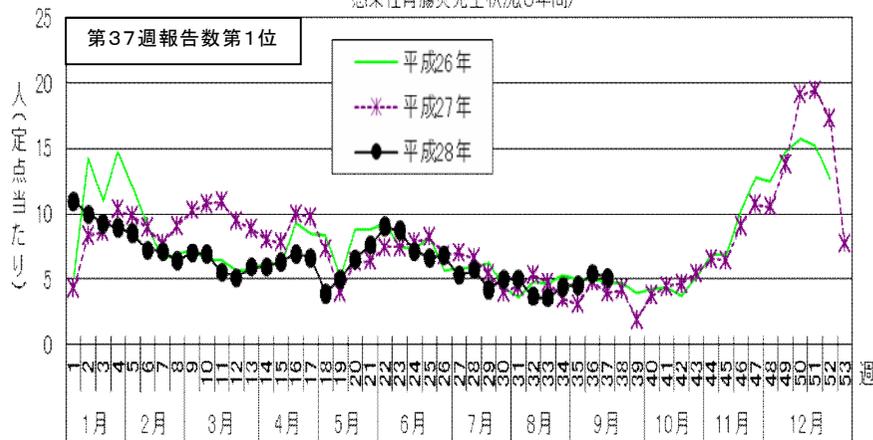
## 【感染症発生動向調査事業から】

平成28年9月12日（月）～平成28年9月18日（日）〔平成28年第37週〕の感染症発生状況

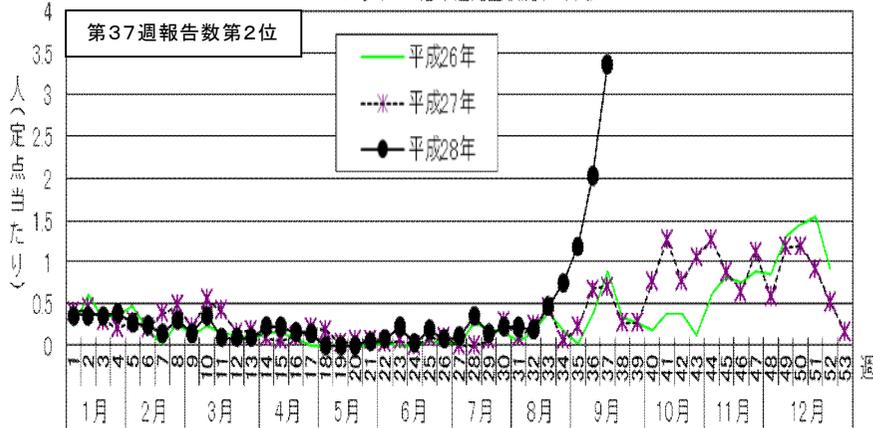
第37週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) RSウイルス感染症 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.17人と前週（5.42人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。  
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は3.37人と前週（2.03人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.66人と前週（1.61人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



RSウイルス感染症発生状況(3年間)



## 知っていますか？「結核」のコト

平成28年9月24日から9月30日までは結核予防週間です。

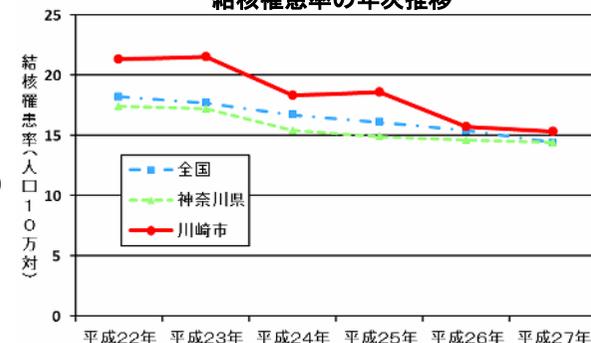
結核は決して過去の病気ではありません。国内では平成27年に年間18,280人が新たに発症し、1,955人の方が亡くなっています。

川崎市においては、結核罹患率は年々減少しているものの全国平均よりやや高い状態で推移しています。

結核は、咳やくしゃみに含まれる結核菌を吸い込むことにより感染（空気感染）し、数ヶ月～数年間の潜伏期間の後、発症します。2週間以上持続する咳がみられる場合には、出来るだけ早く医療機関に相談しましょう。



結核罹患率の年次推移



### 結核を予防するために



### ～川崎市における結核の状況～

川崎市は20歳代から50歳代の患者割合が全国平均に比べて高く、働き盛り世代の患者が多いことが特徴です。咳などの症状があっても日々の忙しさから受診を後回しにしたり、定期健診の未受診や健診後に要精密検査となっても放置することにより発見が遅れ、重症化することがあるため注意が必要です。